

○第40回たておう合同学習会アンケート結果報告

日時:令和8年9月15日(火)13:30~15:00

会場:邑楽町役場 3階大会議室

演題:「認知症と精神症状 気付きやケアのポイント」

講師:医療法人康生会(社団)つつじメンタルホスピタル 精神保健指定医 西田 晴菜 先生

参加人数:86名 アンケート回収枚数:74枚 アンケート回収率:86%

参加者の職種: 主任介護支援専門員…3名 介護支援専門員…52名 看護師…9名 保健師…2名
社会福祉士…1名 MSW…1名 精神保健福祉士…1名 理学療法士…1名
介護福祉士…1名 介護職員…3名 施設職員…1名 生活相談員…2名
支援相談員…2名 相談員…1名 施設長・管理者…4名 行政事務…2名

1. 本日のミニ講演会は、いかがでしたか?

【全体を通しての感想】

- ・症例(テーマ別)を通しての説明でとてもわかりやすかった。 25
- ・症例に基づいて具体的に詳しく進められたいへん参考(勉強)になった。 7
- ・たいへん勉強(参考)になった。 6
- ・とてもわかりやすい内容で興味深かった。 3
- ・わかりやすく丁寧な説明で聞きやすかった。 3
- ・とてもわかりやすく普段の業務に生かしていける内容でとてもよかった。
- ・少し内容が難しいと思った。質問のやり取りはわかりやすかった。
- ・症例を聞くことができて良かった。
- ・認知症とうつの違いや先生の視点が勉強になった。
- ・精神科につなげられれば先生のように適切な診断をしていただけると思うが受診につなげるのが難しいと思った。
- ・認知症と思ったら別の問題で症状が出ている場合もあるので専門医の相談することを家族に提案しようと思っている。
- ・パーキンソン病の方や夜不安症で眠れない人の意志の話が聞けて参考になった。
- ・各種症状から MCI、認知症などへの移行について理解が深まった。
- ・認知症発症の前駆として、うつ症状があるという事を知った。また認知症症状のようでもそうでないことも多いという事を学ぶことができた。
- ・身体状況によって精神症状も悪化する場合があると理解した。
- ・精神状況によっては認知症の前駆期という状況と聞き今後の見通しとして勉強になった。
- ・認知症と書いていても違う可能性もあることがあった。
- ・その人の状態をしっかり見て心理的要因、背景に目を向けられるようにしたい。
- ・認知症の表面だけでなく原因までの要因も考える必要あり。
- ・症状をよく知ること、家族とのコミュニケーション連携の必要性や大切さがよくわかった。
- ・症例を通して認知症を疑われる方との関わり方や着目すべき点がわかった。やはり役割喪失に対するケアが重要なんだという事を改めて感じた。
- ・背景、症状に留意して対応していきたい。
- ・認知症とせん妄、妄想の事例内容がとても参考になった。背景を知ることの必要性をとて感じた。

- ・症状については背景、家族状況なども十分に考える事も大切だと実感した。
- ・画像やテストの所見だけではなく、薬や心理的な要因、うつ病や前駆期に伴う認知症も考えられるため背景を知ることが大切だと思った。
- ・認知症の入所者対応で夜間騒いでしまう等不穏だけでなく身体症状にあるのか関心、観察していなければと思う。
- ・主治医との連携も行いながら本人の生活支援を行う。
- ・認知症とうつ病、うつ状態の診断方法を知ることができた。医師の診断基準の判定の詳細もわかりやすかった。
- ・老年期うつ病が神経変性疾患へ移行する症例もある。
- ・質問の回答がとても丁寧でわかりやすかった。
- ・せん妄の背景として様々な要因が考えられる。
- ・認知症やせん妄の要因を知ることができよかった。
- ・妄想や精神症状がある方の理解や見方が深まった。
- ・専門の先生から講演を聞くことができ、せん妄の出てきてしまう背景のポイントだったり、内服薬の影響等について学ぶことができ参考になった。
- ・日々のケアの中で観察ポイントとして他スタッフとも共有したいと思う。
- ・医師(医学的)としての患者を診る視点を聞くことができたので勉強になった。 6
- ・先生の患者に対する姿勢がすてきだった。今後のつつじメンタルの通院時は診てもらいたいくらいです。
- ・すごく素敵な先生ですね。
- ・「主人公はあなたです」という診察をしていらっしゃる先生が多職種で診察に来てくださいますと言って心強く感じた。
- ・「主人公はあなたです」どんなケアに対しても重要。
- ・スライドがあり見やすかった。

【資料に関する意見】

- ・資料がほしかった。 4
- ・スライド資料の配布があればより理解しやすいと思った。 2
- ・スライドでの講聴は聞き逃し見逃しが多くやはり資料がほしかった。
- ・振り返りをするためにも資料がほしかった。
- ・モニターの資料が小さくて見にくかった。手元に資料がなかったので困った。
- ・資料があればさらに良い。
- ・メモを取りたかったがスライドが早くて思うように記録できなかった。
- ・大変良かったが紙面でいただきたい資料がある。話と画面だけではなかなか完全に理解できないため、できたらほしい。
- ・最後の方のまとめの文章を書き写したかったが記録できなくて残念だった。

【薬に視点をあてた感想】

- ・薬情を正確に把握する努力をしたい。
- ・薬の調整も視野に入れることも大切と知った。
- ・睡眠薬服用に伴うせん妄について大変興味を持った。主治医と相談してみようと思った。
- ・薬物療法にばかり頼るのではなく話を聞いたりすることが大切なんだと改めて思った。
- ・初期での妄想は重度が高く介護負担が大きいことを日頃痛感していた。
- ・それぞれの状況や状態によってサポートの方向性が変わってくると感じた。
- ・内科的要因、精神的要因も考慮しながらのケアが必要と感じた。
- ・質問をしやすい工夫があるととっても良かったのではないと思う。

- ・関わっている方で今回の症例と似ている部分もあり今後の対応に活かしていきたいと思う。 3
- ・施設において同じようなケースがあったので見方を変えてみようと思った。不穏や落ち着かなくなるとクエチアピンやレキサルティが処方されるケースが多いが逆に薬を減らすと改善する例もあったので参考になった。
- ・睡眠薬と不安症状を見ながら相談して調節していかなければと思っている。耳鳴りがある方の被害妄想がひどくなっている。

2. 今後、企画してほしいテーマ等ございましたら、ご記入ください。

- ・家族の関わりが困難な方への支援について
- ・カスハラ（ハラスメント）、対策について（自分の身を守るための方法） 3
- ・成年後見人制度について学びたい 2
- ・ケアマネのシャドーワークについて
- ・困難事例の検討会、報告
- ・多職種との交流
- ・制度の活用について
- ・お金がなく必要なサービスが受けられない利用者に対してケアマネができる事、相談窓口
- ・いっぽ診療所の医師を講師に迎えてほしい。訪問診療の本当の在り方を知りたい。たくさんの症例を紹介していただきたい。（萬田緑平先生）
- ・自費（保険外サービス）業者の情報（実際に来ていただいて PR や具体的利用の紹介）
- ・災害に関する事
- ・精神疾患と認知症
- ・薬の調整について
- ・経済的困難者に対する介護保険のアプローチの仕方と年金で入れる施設があればいいが収入が低いとないのでどういう方法があるか知りたい。
- ・身体拘束をしなくても介護ができる対策に関するテーマがあると良い。
- ・不穏状態、興奮状態にある精神疾患患者の対応
- ・今回と同じテーマの第 2 弾があると参加したい。
- ・疾患の理解に関する講演は興味深い。（高齢者の肺炎、心疾患、大腿骨骨折等）
- ・地域支援について（町づくりの観点からどのようなことが必要かも含めて）
- ・認知症（具体的なりハなどのテーマもあると良い）
- ・認知症患者との関わり方
- ・認知症初期集中支援チームの現状について
- ・担当利用者に無年金、預金なしで家族が全て費用を出している方で生活保護が利用できない方などに他に何か支援ができるのか事例をふまえ知りたい。
- ・ケアマネや専門職の方々は日々の支援対応に疲弊しているためメンタルを保てるような講義
- ・警察の方による学習会（認知症の方、精神疾患の方の警察案件。どのような時に警察に連絡して良いのか。今までの事例など紹介いただきたい。ケアマネも刺される時代。自分たちの身を守るためにも警察のハードルを下げたい）
- ・終末期ケア
- ・在宅での褥瘡予防、処置
- ・嚥下障害の方の食事介助のコツ
- ・8050問題
- ・精神症状の対処法（薬のコントロール）

- ・声掛けや見守りでは限界がある
- ・うつ病は治らないのか。
- ・訪問診療、訪問看護等

3. 今回の「多職種からのお知らせコーナー」について

- ・いろいろな情報が収集できるのでよい。 7
- ・いろいろなサービスが知れてよかった。
- ・新しい情報が多いのでありがたい。役立てていきたい。
- ・社会資源の把握助かる。普段電話で問い合わせをしている方の顔が見れてよかった。
- ・他施設の方から話を聞くことがあまりないのでとても良いと思った。
- ・情報を身近に感じられてたいへんよい。
- ・今回の学習会に添ったものでよかった。
- ・参考にする。 2
- ・認知症本人ミーティングに興味を持った。対象になる利用者がいたら参加出来たら良いと思った。
- ・お知らせコーナーの参加者が多くて良かった。これからもこのコーナーが交流の場になると良いと思う。
- ・それはそれでまあいいかという感じ

4. その他、参加してお気づきの点がございましたら、ご記入ください。

- ・ZOOMでの開催があればよいと思う。
- ・いつも13:30~でちょうどよい時間だと思う。
- ・講演の内容に興味があったので資料があると見返せるのでほしかった。
- ・せっかくの研修なので認知症ケア専門下単位もつくようにしてほしい。
- ・初めて参加したがまた参加したいと思った。
- ・出席予定者の名簿がどこかに貼ってあると助かる。